

省エネ屋根用遮熱塗料

弱溶剤シリコン樹脂屋根用遮熱塗料

パラサーモシリコン

COLOR SAMPLE

【改訂第5版】

信頼と実績を誇る遮熱技術に高耐候性、高光沢をプラス。
弱溶剤シリコン樹脂の特長を生かした
多機能遮熱塗料です。

2001年に日本特殊塗料が省エネ屋根用遮熱塗料「パラサーモ」を開発して以来、パラサーモシリーズは多くの方々から好評をいただき、全国各地で採用実績が相次いでいます。

「パラサーモシリコン」は高耐候性シリコン樹脂を採用することにより、そのパラサーモシリーズの遮熱性能に加え、耐候性、光沢性を高めた塗料です。また、弱溶剤系のため、下地調整材（プライマー）などを替えることで、あらゆる屋根材に塗装が可能。優れた遮熱性能と抜群の高耐久性、そして、大幅な拡張性をもった画期的な多機能塗り替え遮熱塗料です。



特長

1 優れた遮熱性を発揮します。

太陽光に対する反射率の優れた着色顔料と熱放射率に優れたセラミックに、当社独自の技術によりシリコン樹脂を融合。各種屋根材に塗装することにより、室内への熱の侵入を遮断し、室内の温度上昇を抑えることができます。エアコンなどの空調設備の省エネ効果に抜群の性能を発揮します。

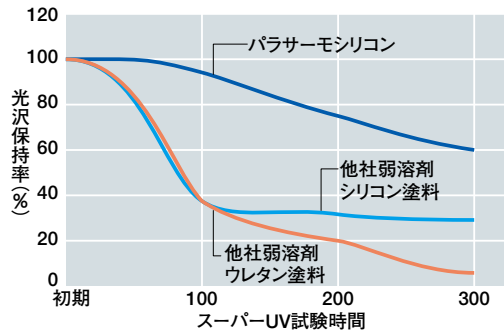
●**ご注意**：基準色より既存塗膜が淡彩系の場合、遮熱(温度低減)効果が得られないケースもございますのでご注意ください。詳細は最寄りの営業所にご確認ください。

2 抜群の耐久性で屋根を守ります。

従来のシリコン樹脂塗料や「パラサーモ」(ウレタン系)と比較して抜群の耐候性(高耐候性塗料)を誇り、美観を長期間維持します。

●各種塗料の促進耐候性比較グラフ

色相：グレー

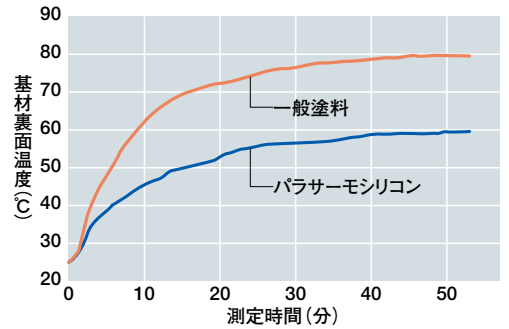


※促進耐候性試験機(スーパーUV)で耐候性の比較試験を実施しました。

※スーパーUV100時間は屋外曝露約2~4年に相当します。

●遮熱試験

厚さ：5mm新生瓦 色相：グレー 300Wレフランプ照射



※パラサーモシリコンと一般塗料との瓦裏面温度差は約20℃あります。これはパラサーモの遮熱性能と同じです。

3 高光沢な色彩で屋根を美しく彩ります。

弱溶剤可溶シリコン樹脂が、クリア感のある平滑な塗膜を形成。光沢のある鮮やかな外観を実現します。また、色彩も豊富にラインアップ。お好みのカラーで屋根を彩ります。

4 あらゆる屋根材に塗装できます。

弱溶剤系のため新規塗装にも塗り替えにも対応します。また、プライマーの選択により多様な屋根材をカバーする高い拡張性を発揮。厚形スレート(セメント瓦)、新生瓦(コロニアル、フルベストなど)、スレート屋根材、折板屋根、ガルバニウム鋼板など、ほとんどの屋根材に塗装が可能です。

※いぶし瓦・陶器瓦への施工はできません。

※スラリー瓦(モニエル瓦、スカンジア瓦など)への塗り替えは特殊下地材を使用します。詳しくは最寄りの営業所へお問い合わせください。

標準色 (常備色)

●この色見本は紙に塗装しておりますので、実際の仕上がりとは多少の色違いが生じる場合があります。ご了承ください。

●本色見本帳のPDF版をカラー出力された場合、この色見本帳に掲載しています標準色とは著しく色の相違があります。PDF版のカラー出力やパソコンのモニターをご覧になってご注文はお受けできません。標準色の指定、選定、ご注文は必ず現物の色見本帳をお願いします。



▲ホワイト



▲ライトグレー



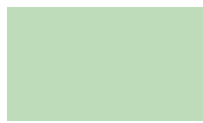
▲ソフトグレー



▲サンドベージュ



▲ベージュ



▲ライトグリーン



▲ライトブルー



▲グレー



▲マウスグレー



▲クラウドグレー



▲スレートブラック



▲ブラック



▲ココナッツ



▲ブリックレッド



▲スレートブラウン



▲ラシットレッド



▲ガーネットレッド※



▲チェスナット



▲グラスグリーン※



▲オリーブ※



▲マリンプルー



▲ディープブルー

●パラサーモシリコンは特殊な顔料を使用しており、膜厚や標準以上の希釈量では色目が少し変わります。ご注意ください。

※色相により、遮熱効果が異なりますのでご注意ください。詳細は最寄りの営業所までお問い合わせください。

※印の標準色(3色)は割高(2~3割程度)になります。

試験成績

試験項目	試験方法	試験結果
光沢	60度 鏡面反射率 ガラス板上	85以上
鉛筆硬度	鉛筆硬度	HB
付着性	碁盤目テープ試験 5mm角25マス	25/25
耐水性	水道水 7日間浸漬	異常なし
	水道水 7日間浸漬後 碁盤目テープ試験 5mm角25マス	25/25
耐温水性	60℃温水 7日間浸漬	異常なし
	60℃温水 7日間浸漬後 碁盤目テープ試験 5mm角25マス	25/25
耐酸性	5%硫酸水溶液 スポット試験7日間	異常なし
耐アルカリ性	5%水酸化ナトリウム水溶液 スポット試験7日間	異常なし
寒熱サイクルテスト	JIS A 6909(温冷繰り返し)水中18時間→-20℃×3時間→50℃×3時間を1サイクルとしこれを10サイクル実施	異常なし
凍結融解試験	自社試験法 水中浸漬にて試験 -20℃×4時間→20℃×4時間 200サイクル	異常なし
促進耐候性	スーパー UVテスター 200時間	光沢保持率75%以上

用途

- 工場、倉庫などのスレート、トタン、鋼板屋根
- 体育館の屋根
- 戸建ての一般住宅屋根(新生瓦、厚形スレートなど)
- その他、仮設住宅、プラント、畜舎、車庫などの屋根

荷姿

- パラサーモシリコン(各色)……………16kgセット(A液：14kg B液：2kg)

推奨プライマー

製品名	色	荷姿
エポラ浸透遮熱プライマー	淡グリーン	16kgセット(A液：14kg B液：2kg)
エポラ塗替遮熱プライマー	淡ブルー	16kgセット(A液：14.4kg B液：1.6kg)
エポラ#2遮熱プライマー	淡ブルー	16kgセット(A液：14.4kg B液：1.6kg)
エポラ#3プライマー	ホワイト、赤錆	16.5kgセット(A液：15kg B液：1.5kg)

ご使用可能プライマー

製品名	色	荷姿
エポラマイルドプライマーS	淡褐色透明	28kgセット(A液：14kg B液：14kg)
〃 〃	〃	14kgセット(A液：7kg B液：7kg)
エポラマイルドプライマー	グレー	16kgセット(A液：14kg B液：2kg)
〃 〃	〃	4kgセット(A液：3.5kg B液：0.5kg)
ウルトラルーフプライマー	グレー	15kg
エポラ#1遮熱プライマー	淡ブルー	16kg
エポラ#1プライマー	グレー、赤錆	16kg
エポラ#2プライマー	白、赤錆	16kgセット(A液：14.4kg B液：1.6kg)



① 新生瓦、スレート屋根、厚形スレート瓦（既存塗膜がない場合）

工程	塗料の調合	施工方法	可使用時間	使用量	施工間隔
素地調整	● 表面の塵、ホコリ、コケや旧塗膜の浮き、ハガレなどは、高圧水洗やワイヤーブラシなどで完全に除去してください。 ● 水洗い後は十分に素地を乾燥させてください。				
下塗	● エポラ浸透遮熱プライマー A液 ……………14kg ● “ ” “ ” B液 ……………2kg ※A液、B液は缶をよく振ってからご使用ください。	● ローラー ● 刷毛 ● スプレー	6時間以内 (23℃)	0.15~0.2 kg/㎡	2時間以上 7日間以内 (23℃)
上塗 (1回目)	● パラサーモシリコン A液 ……………14kg ● “ ” “ ” B液 ……………2kg ● 塗料用シンナーA(ローラー、刷毛) ……………0~1kg ● 塗料用シンナーA(スプレー) ……………0~2kg	● ローラー ● 刷毛 ● スプレー	6時間以内 (23℃)	0.12~0.15 kg/㎡	2時間以上 (23℃)
上塗 (2回目)	● パラサーモシリコン A液 ……………14kg ● “ ” “ ” B液 ……………2kg ● 塗料用シンナーA(ローラー、刷毛) ……………0~1kg ● 塗料用シンナーA(スプレー) ……………0~2kg	● ローラー ● 刷毛 ● スプレー	6時間以内 (23℃)	0.12~0.15 kg/㎡	—

※「エポラ浸透遮熱プライマー」の他に「エポラマイルドプライマーS」もご使用いただけます。

② 新生瓦、スレート屋根、厚形スレート瓦（既存塗膜がある場合）

工程	塗料の調合	施工方法	可使用時間	使用量	施工間隔
素地調整	● 表面の塵、ホコリ、コケや旧塗膜の浮き、ハガレなどは、高圧水洗やワイヤーブラシなどで完全に除去してください。 ● 水洗い後は十分に素地を乾燥させてください。				
下塗	● エポラ塗替遮熱プライマー A液 ……………14.4kg ● “ ” “ ” B液 ……………1.6kg ● 塗料用シンナーA(ローラー、刷毛) ……………0~1.6kg ● 塗料用シンナーA(スプレー) ……………0.8~2.4kg	● ローラー ● 刷毛 ● スプレー	6時間以内 (23℃)	0.14~0.16 kg/㎡	12時間以上 7日間以内 (23℃)
上塗 (1回目)	● パラサーモシリコン A液 ……………14kg ● “ ” “ ” B液 ……………2kg ● 塗料用シンナーA(ローラー、刷毛) ……………0~1kg ● 塗料用シンナーA(スプレー) ……………0~2kg	● ローラー ● 刷毛 ● スプレー	6時間以内 (23℃)	0.12~0.15 kg/㎡	2時間以上 (23℃)
上塗 (2回目)	● パラサーモシリコン A液 ……………14kg ● “ ” “ ” B液 ……………2kg ● 塗料用シンナーA(ローラー、刷毛) ……………0~1kg ● 塗料用シンナーA(スプレー) ……………0~2kg	● ローラー ● 刷毛 ● スプレー	6時間以内 (23℃)	0.12~0.15 kg/㎡	—

※「エポラ塗替遮熱プライマー」の他に「エポラマイルドプライマー」や「ウルトラレーフプライマー」もご使用いただけます。

③ 金属屋根の場合：折板屋根、瓦棒など

工程	塗料の調合	施工方法	可使用時間	使用量	施工間隔
素地調整	● フクレ、割れ、浮きなどの劣化塗膜はケレン工具を用いて除去してください。 ● 錆は電動工具やサンドペーパーなどを用いて除去し、被塗面を清掃してください。 ● 被塗面の表面の塵、ホコリ、油脂類はシンナーや高圧水洗などで完全に除去し、乾燥した清浄な面にしてください。				
補修塗り	● エポラ#2遮熱プライマー A液 ……………14.4kg ● “ ” “ ” B液 ……………1.6kg ● 塗料用シンナーA(ローラー、刷毛) ……………0~1kg ● 塗料用シンナーA(スプレー) ……………0~2kg	● ローラー ● 刷毛	6時間以内 (23℃)	適量	12時間以上 7日間以内 (23℃)
下塗	● エポラ#2遮熱プライマー A液 ……………14.4kg ● “ ” “ ” B液 ……………1.6kg ● 塗料用シンナーA(ローラー、刷毛) ……………0~1kg ● 塗料用シンナーA(スプレー) ……………0~2kg	● ローラー ● 刷毛 ● スプレー	6時間以内 (23℃)	0.16~0.2 kg/㎡	12時間以上 7日間以内 (23℃)
上塗 (1回目)	● パラサーモシリコン A液 ……………14kg ● “ ” “ ” B液 ……………2kg ● 塗料用シンナーA(ローラー、刷毛) ……………0~1kg ● 塗料用シンナーA(スプレー) ……………0~2kg	● ローラー ● 刷毛 ● スプレー	6時間以内 (23℃)	0.12~0.15 kg/㎡	2時間以上 (23℃)
上塗 (2回目)	● パラサーモシリコン A液 ……………14kg ● “ ” “ ” B液 ……………2kg ● 塗料用シンナーA(ローラー、刷毛) ……………0~1kg ● 塗料用シンナーA(スプレー) ……………0~2kg	● ローラー ● 刷毛 ● スプレー	6時間以内 (23℃)	0.12~0.15 kg/㎡	—

※補修塗り、下塗りには「エポラ#1遮熱プライマー」「エポラ#1プライマー」「エポラ#2プライマー」もご使用いただけます。

4 非鉄金属屋根の場合：ガルバニウム鋼板など

工程	塗料の調合	施工方法	可使時間	使用量	施工間隔
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> ● フクレ、割れ、浮きなどの劣化塗膜はケレン工具を用いて除去してください。 ● サビは電動工具やサンドペーパーなどを用いて除去し、被塗面を清掃してください。 ● 被塗面の表面の塵、ホコリ、油脂類はシンナー除去や高圧水洗などで完全に除去してください。 				
補修塗り	<ul style="list-style-type: none"> ● エポラ#3プライマー A液 ……………15kg ● // B液 ……………1.5kg ● エポラ#3シンナー ……………0～4kg 	<ul style="list-style-type: none"> ● ローラー ● 刷毛 	6時間以内 (23℃)	適量	6時間以上 72時間以内 (23℃)
下塗	<ul style="list-style-type: none"> ● エポラ#3プライマー A液 ……………15kg ● // B液 ……………1.5kg ● エポラ#3シンナー ……………0～4kg 	<ul style="list-style-type: none"> ● ローラー ● 刷毛 ● スプレー 	6時間以内 (23℃)	0.14～0.16 kg/㎡	6時間以上 72時間以内 (23℃)
上塗 (1回目)	<ul style="list-style-type: none"> ● パラサーモシリコン A液 ……………14kg ● // B液 ……………2kg ● 塗料用シンナーA(ローラー、刷毛) ……………0～1kg ● 塗料用シンナーA(スプレー) ……………0～2kg 	<ul style="list-style-type: none"> ● ローラー ● 刷毛 ● スプレー 	6時間以内 (23℃)	0.12～0.15 kg/㎡	2時間以上 (23℃)
上塗 (2回目)	<ul style="list-style-type: none"> ● パラサーモシリコン A液 ……………14kg ● // B液 ……………2kg ● 塗料用シンナーA(ローラー、刷毛) ……………0～1kg ● 塗料用シンナーA(スプレー) ……………0～2kg 	<ul style="list-style-type: none"> ● ローラー ● 刷毛 ● スプレー 	6時間以内 (23℃)	0.12～0.15 kg/㎡	—

※ガルバニウム鋼板は素材自体が高い遮熱性をもっています。「パラサーモシリコン」を直接素材に塗装する場合は明度の高い色を推奨します。

施工上の注意事項

● 素地調整について

- ① 高圧水洗やエアレススプレー塗装では、施工中のミスト飛散防止のため、十分に養生を行なってください。
- ② 高圧水洗ができない場合はホースで水を流しながらワイヤーブラシなどを用いて塵、ホコリ、コケ類を完全に除去してください。
- ③ 水洗い後は1日以上乾燥させてください。雨や露などで濡れている場合も十分に乾燥してから塗装してください。
- ④ 油分が付着している場合は溶剤拭きを行なってください。
- ⑤ 錆が発生している場合はワイヤーブラシ、サンドペーパーなどで除去してください。

● 塗料と塗装について

- ① 仕様書に書かれている数値は標準的なものであり、素地の状態、形状、施工条件、気象条件などにより多少の幅が生じることがあります。
- ② 屋根表面を水洗いした後や雨や露、霜で濡れているときは十分に乾燥させてから塗装してください。
- ③ 塗装後翌日までに降雨、降雪が予想される場合や気温が5℃以下、湿度80%以上での塗装は避けてください。未乾燥状態で水分の影響を受けると、つや引けなどの現象が発生し、塗膜性能が発揮されません。乾燥までの時間を考慮して作業を進めてください。
- ④ 夏季、炎天下でエアレスホース内に塗料を入れたまま放置すると、つまりの原因となります。
- ⑤ 気温が5℃以上で塗装は可能としておりますが、気温が低い場合は塗膜の乾燥に時間がかかりますので施工間隔が変わります。
- ⑥ 塗料は必ず規定配合比で調合し、電動攪拌機などで十分に攪拌してから施工してください。規定配合比で混合されないと、本来の塗膜性能を発現しない場合や、仕上がりが悪くなる場合があります。
- ⑦ 規定の塗布量が塗られていない場合、本来の塗膜性能が発現しない場合がありますので規定量を守って塗装してください。
- ⑧ 他の塗料との混合は絶対に行なわないでください。
- ⑨ 塗料を小分けして使用する場合はA液を十分に攪拌して均一の状態にしてから分けてください。色ムラなどの要因となります。
- ⑩ 遮熱塗料は特殊な顔料を使用しています。このため、シンナーの希釈量や使用量が多すぎたり、少なすぎたりすると、色相が変化して見えることがあります。また、遮熱性能が低下することもありますので、塗装仕様を厳守して施工してください。
- ⑪ 材料は直射日光を避け、雨露の当たらない冷暗所に保管してください。
- ⑫ シーリング面への塗装は極力避けてください。塗膜の汚れやワレの要因となります。
- ⑬ 塗装方法が混在する場合、塗布量、表面肌が異なることで若干の色の相差がでることがあります。
- ⑭ 塗料の希釈で塗料用シンナーAを使う場合、他のシンナーを使用しないでください。シンナーの種類によっては著しい粘度低下や、本来の色艶がでない場合があります。また、過剰希釈しますと隠蔽不足、色艶の低下、外観不良などの要因となります。
- ⑮ 溶剤系の塗料およびシンナーは引火性がありますので、冷所に保存し、取り扱いの際は火気に充分ご注意ください。また、衛生上、塗装の際に有機溶剤の蒸気を吸わないようご注意ください。
- ⑯ 各仕様で硬化が不十分な場合に塗装しますとリフティング(塗膜のちぢれ)を起こす場合があります。
- ⑰ 瓦棒や波形トタン屋根などの塗装で山の部分や折り曲げ部分などは塗料が付きにくいいため、先に拾い塗りをするなどして全体に均一な膜厚になるよう注意してください。
- ⑱ 屋根材の重なり部分に塗料がたまるなど漏水などの原因になりますので、必ず縁切りを行なってください。瓦の上下にすき間がないと通気が不十分になり、結露水などの影響により、漏水や素材の腐食、塗膜剥離、フクレなどの不具合が発生する場合があります。皮スキやカッターなどで縁切りを行なってください。
- ⑲ 塗装機具は使用後速やかにラッカーシンナーなどで洗浄してください。
- ⑳ いずれの塗料も粘土瓦への施工はできません。

「パラサーモシリコン」取り扱い上の注意事項

(よく読んでご使用ください)

- 火気のあるところでは、絶対に使用しないでください。
- 万一、火災が発生した場合は炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。水は使用しないでください。
- 施工中、乾燥中とともに換気を充分に行ない、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 取り扱い中はできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、手袋および前掛けなどの保護具を着用してください。
- 取り扱い作業中、容器からこぼれないよう注意してください。こぼれた場合は直ちに布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 材料の付着した布やウエスなどは自然発火や引火の危険性があるため、廃棄するまで水につけておいてください。
- 容器はつり上げないでください。止むを得ずつり上げるときには、適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意してください(偏荷重になると取っ手が外れ、落下する危険性があります)。
- 取り扱い後は手洗いおよびうがいを充分に行なってください。
- 目に入った場合は多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合はできるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 材料が皮膚に付着し、痛みや外観変化があるときは医師の診察を受けてください。
- 蒸気やガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 保管は必ずフタをし、直射日光の当たらない場所に保管してください(水系塗料は凍結を避けてください)。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 中身を使いきってから廃棄してください。また、廃液・汚泥などは関係法規に基づき、自社で適正に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 詳細な内容が必要な場合は警告ラベル、または化学物質等安全データシート(MSDS)をご参照ください。

*製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。

【その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください】

日本特殊塗料株式会社

■お問い合わせ先

東京営業所	〒114-8584 東京都北区王子5-16-7	☎(03)3913-6203	FAX(03)3913-6323
平塚営業所	〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10	☎(0463)23-2135	FAX(0463)23-3739
名古屋営業所	〒472-0006 愛知県知立市山町東並木北12	☎(0566)81-8111	FAX(0566)81-8124
大阪営業所	〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-28-10	☎(06)6386-8492	FAX(06)6338-3560
広島営業所	〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13	☎(082)423-8231	FAX(082)423-8256
福岡営業所	〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726	☎(0942)89-5766	FAX(0942)89-5762

●日本特殊塗料ホームページ <http://www.nttoryo.co.jp/>

■代理店